

ハンセン病療養所入所者から寄贈を受けた壺の展示 オープニングセレモニーについて

令和3年8月20日
健康政策課

平成9年「山陰・夢みなと博覧会」開催時に里帰り事業の一環として、国立療養所「長島愛生園（岡山県）」入所者を招待した際に鳥取県に寄贈いただいた壺について、ハンセン病の歴史等を啓発するためこのたび、県庁内で常設展示を行うこととしました。

記

- 1 日時 8月4日（水）午後1時30分から1時45分まで
- 2 場所 県庁県民室（本庁舎1階）
- 3 内容
 - ・壺の除幕（お披露目）
 - ・知事あいさつ
 - ・荒井玲子氏からのあいさつ
 - ・長島愛生園入所者からの感想
- 4 主な出席者
国立ハンセン病療養所長島愛生園入所者など ※リモートで参加
荒井玲子氏（元 長島と鳥取を結ぶ会代表、大山町在住）

長島愛生園の概要

全国に13箇所ある国立の療養所のうちのひとつで、現在、同施設には、125人の入所者が療養・生活している。

所在地 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539

設立 昭和5年

寄贈を受けた壺について

- ・平成8年、らい予防法廃止を受けて西尾元知事が長島愛生園を訪問し、翌年境港市で開催される「山陰・夢みなと博覧会」に招待を約束。
- ・平成9年7月、山陰・夢みなと博覧会に長島愛生園の入所者8名が来県。二泊三日の期間中、燕趙園やわらべ館等を見学。
- ・長島愛生園には施設内のクラブ活動として「陶芸サークル」があり、来県された入所者の一人が同サークルに所属されており、西尾元知事への感謝の意を込め、後遺症で麻痺の残る手指で土をこね、ろくろを回すなど、備前焼の壺を自ら焼き上げ寄贈されたもの。

